

関わらず、逆に余所見をしている人にぶつかられた上に文句を言われたという体験をした人もいられるかもしれない。そういう人には大変申し訳ないが、まずは、**現在のコミケットの環境では間違いなくカートは不向きなのだ**ということは理解してほしい。

しかし、家から会場まで、行き帰りの行程で使うことそのものには何ら問題はない。

ということで、特に混雑するジャンルが目当ての人ではできるだけ、カートは会場に入ったら会議棟1Fに前回から設けられた有料休憩所（詳しい場所は配置図参照）か、北コンコースの手荷物保管所（場所が分らない場合はスタッフに質問して下さい）に預け、ホール内にはセカンドバッグのみを持って入るように心がけてほしい。どうしても着替え一式を携行しなければならないコスプレイヤーはともかく、他の一般参加者はまず、**自分の荷物は自分で持つのが基本**なのだ。他のイベントで使っているから、といったような理由で安易にカートを持ち込むのではなく、コミケットは全く別のルールがあることを認識し、装備を厳選して、可能な限り自分の力で持ち運べるようにまとめる努力をしてみよう。

その上で、どうしてもカートを使用する場合は以下の使用マナーを厳守してほしい。

また、カートや荷物の角になる部分には布やゴムなどのバンパーを自作する他、緊急時に肩にかけられるようにストラップベルトを付けておくことと良い。そうすれば、極度に混雑している場所やエスカレーター、階段などを移動する際に持ち上げて運ぶことができ、自分自身の占有スペースを圧縮することができるのだ。

こういった工夫はカート類を使用する以上は必須の準備だ。自動車と歩行者の事故で常に自動車側が不利になるように、カート類の使用者は常に加害者側に立たされることを自覚して、十分に注意されたい。



梱包材などでフレームにバンパーを付ける。

カラビナなどを使ってショルダーベルトを付ける。

ショルダーベルトを使うとカートも楽に持ち上がる。

●守ろう、カートマナー●

- ① カートは極力立て、自分の身体の直後を走らせること。
- ② カートを曳いている時は通路を一直線に移動することを心がけ、シグザグ移動はしないこと。
- ③ 曲がる時には周囲背後をよく確認すること。
- ④ 自分の身体が通ってもカートはひっかかるかも、と常に考え、無理な割り込みはしないこと。
- ⑤ 特に混雑しているところではカートを身体の前に持ってきて押すこと。
- ⑥ 極めて混雑している場所やエスカレーターではカートを持ち上げて移動すること。
- ⑦ 移動に際してはスピードを出し過ぎないこと。
- ⑧ カートは他の歩行者の視界外にある、という事を認識しておくこと。
- ⑨ 混雑の渦中で荷崩れを起こさないよう、積載した荷物には必ずしっかりバンドをかけること。

●救急キットは必携です●

- ・バンドエイド（サイズ各種）
- ・頭痛薬／鎮痛剤
- ・胃腸薬／下痢止め
- ・風邪薬
- ・消毒薬
- ・冷えピタ類
- ・その他常用薬があれば
- ・健康保険証のコピー
- ・ティッシュペーパー
- ・ウェットティッシュ

この程度のものでよいので、全参加者がカバンの中に忍ばせておこう。特に紙で手を切るのと、靴擦れ、体温の上がり過ぎ／下がり過ぎで気分が悪くなること、下痢や腹痛はコミケットでは頻発する身体トラブルだが、これくらいの用意があれば自力で十分対処可能だ。

また、会場内で少しでも体調に異変を感じたら、すぐに立ち止まってよく確認しよう。特に足のマメや靴擦れは初期に手当てしておかないと自力で歩けなくなってしまう場合もある。

こういった準備で救護室の負担を減らし、自分の身は自分で守る努力をすることも必要だが、症状が重いようなら無理せず、ためらわず、甘く見ずに即救護室に行こう。

自分で向かうためにも、誰かを連れて行ってあげるためにも、配置図で事前に救護室の場所は確認しておくことが望ましいが、非常時には最寄りのスタッフに申し出れば良い。